

ヒブリア

発行 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校
編集 図書委員会 ビブリア編集部
平成 5年 7月 20日

福島高専図書館報第75号

巻頭言

土木工学科教官 高橋 邦雄

毎年、今頃の最大の関心事は、就職に関する事であろう。特に、高専に対しては、社会の一般的風潮として売り手市場の好調が長年続いていたため、高い評価を受けていた。ところが、バブルがはじけた今日「就職戦線異常あり」の伝令が伝わってきたのである。

私は、この就職業務に携わって、感ずることは、推薦書、履歴書の作成、そして面接に至る過程で、少し面倒な事がしばしば起きるのである。

就職希望調査書の趣味関係の欄に読書と書かれている学生についてである。本人が記載したのだから、担任としては、推薦書にこの点を強調して書きますと、その後の流れの中で会社面接時に思わぬことが起きようである。

我々が本を読む目的は、それぞれ異なっていて知識を得るため、個人の趣味のため等々である。しかし、愛読書は？ とか、今までに感銘を受けた本は？ と問われた時に、答えとしては、この人物は、こうゆう生き方は、主人公のあの行動に共感もてるなどと、自分の人生に照らしてどうであったかを論ずるものである。

会社のプロの担当者聞いてみると、最近あまりこの種の質問をしないそうである。何故ならば、「好きな言葉」「愛読書」「尊敬する人物」等から引き出される本人の人生観、生活心情、考え方に価値観の多様化が感じられる反面、一律に流行性が強く、そのわりには個性が出ないのがその理由の一つのようである。

昨年一年間の、ある新聞社調べによる月間ベストセラーなる本を少し見てみると
それゆけココロジ (2月から4月)
アメリカを葬った男 (5月)
愛人 (6月)
世紀末クイズ3 (7月)
さるのこしかけ (8月、10月)
ひるめしのもんだい (9月)
国境の南、太陽の西 (11月、12月)

【紙面関係で以下省略】

そのほかで、ベスト10によく出ているのが「さるのこしかけ」「こころの処方箋」「磯野家の謎」等々である。

調べていて驚いたことには、クイズの本とミステリーものがほんとうに多いということである。そして、私自身読んだのは、この中の何冊か？である。

さて、本題にもどり、上記のような趣味の領域の本であれ、学校が勧める読書・教育図書であれ、少なくとも何冊かは愛読し、たとえ就職戦線であれ、プロのスカウトの方に、私の「愛読書」は「好きな言葉は・・」と、はっきり言い切り、自分はこうゆう生き方をしていますと自信を持って言いたいものである。

我々と同じ世代の会社のお偉方の面接であり世代のギャップはあるとは言えクイズの答えのような問答だけは避けたいものである。

最後に、我々が「本」を読む目的はなんであれ、自分の人生において心の拠り所となる本、バイブル的な本の一冊ぐらいは机の上にいつも置きたいものである。

目次

巻頭言	高橋邦雄	・・・1
新一年生に薦める入門書		・・・2
	松本匡以、横田哲也、 石山純一、緑川猛彦	

私の推す一冊	・・・4
図書検索機の使い方について	・・・7
夏季臨時開館のお知らせ	・・・9

新一年生に薦める 入門書

機械工学科教官 松本 匡以

機械工学科の一年生諸君には、次の4冊を是非読んでほしいと思います。

- D・マコーレイ著 「道具と機械の本」
(原題: The Way Things Works)
- S・ビースティ、R・プラット著
「輪切り図鑑クロスセクション」
(原題: Stephen Biesty's Incredible
Cross-Section)
- 日刊工業新聞社編 「モノづくり解体新書一の巻」
- 日刊工業新聞社編 「モノづくり解体新書二の巻」

何度も評判になった本ですから、知っている人も多いかと思いますが、「道具と機械の本」は、てこ等の簡単な機械からスペースシャトル等の複雑な機械まで、そのしくみを図と簡単な文章で紹介してあります。次の「クロスセクション」は、乗り物や有名な建物を輪切りにした図で、普段見られないような内部をわかりやすく解説しています。

「モノづくり解体新書」は、身の回りの工業製品の作り方を図と写真で説明し、併せて簡単な機械加工の技術を解説しています。

機械のエンジニアにとって大切なことは、機械のしくみに対する好奇心と三次元的な発想です。上記の四冊ともいわば絵本のようなものですから、難しい顔をしないで楽しく読んでいるうちに、このような好奇心と三次元的発想を養ってくれるはずですよ。そして、その中で興味を覚えた機械技術について、それぞれの専門書へ進むと良いでしょう。

電気工学科教官 横田 哲也

実は、私も何年か前にビブリアを読んでいた人間なので、諸先輩方に負けずに良い入門書を紹介したが、はて？あの頃自分は入門書など読んでいただろうか。

君達は工業高専に入学したわけだから、当然工学に興味があり、将来技術の仕事に携わりたいと考えていることでしょう。

とはいえ、若干15才にして技術専門書が読みたくてたまらないという方は、私の拙い提案など無視して結構。殆どの諸君は、教科書のページさえスムーズに開けずにいると思います。そこで、C₆₀サッカーボール構造の話題より、昨日のJリーグの結果が気になるごく普通の君たちに、諸君よりも先に高専生活を経験した私が薦める入門書は、〇〇出版の△△工学基礎ではなくて、雑誌です。

例えば、電気科なら昔ながらのトラ技やラ製など(意味のわからない人は電気科の誰かに聞いて下さい)。また、化学科であれば月刊化学なども、親しみやすい内容で門外漢の私にも面白く、1年生の化学入門書としては最適では？ところが、これらの雑誌でさえ知らない言葉が多くてつまらないという方には、最近登場してきたNewton, Quartk 当の科学雑誌(視覚的に非常に優れた表現力を持つ)などは、科の別を問わず絶好の入門書だと思います。

では、何故雑誌なのか？それは、ある意味で君たちがまだ素人だから。本校の4、5年生に薦める工学書はいくらでもあります。しかし、これから科学技術の世界に足を踏み入れる君たちに必要なのは、まず相手に興味を持つことです。おそらく手元の教科書を、目を輝かせて30分読んでいられる1年生は少ないでしょう。(もしかすると先輩たちも)

ともかく、今は君たちが興味を持って、時間を忘れて見ていられるものにしてください。もしそれが教科書なら最高だが、そうはいかない大多数の諸君は、まず雑誌から科学技術の



世界に触れることをお勧めします。

興味を持つことや面白いと思えることが、
全てにおいて最大の力になります。

工業化学科教官 石山 純一

誰かに、この本を読んだら良いのではなど
と思って、本を選んだりはしていないので、
突然ビブリアに標記のような題目で何か書く
ように申し込まれて、とまどっている。そ
こで、最近読んだ中で、平易な文体で書かれ、
私自身が興味を持った本を3冊ほど紹介しよ
う。ビブリアの小生の書いた雑文を見て、
一読しようと思って頂けたら幸いである。

○「お茶の科学」 山西 貞著 裳華房

この本は、題目から分かるように、お茶に
ついて科学的な関点から書かれた本の一つで
ある。お茶は世界で一番広く飲まれている
嗜好飲料である。非常に身近なものだが、
その成分や製法について知っている人は稀で
あろう。本書では、緑茶、紅茶、烏龍茶を
始めとして数多くの種類のお茶がどのよう
にしてつくられるのか、それぞれのお茶の風味
を上手に生かして飲むにはどこにポイントを
置くのか、体にどのような良い効果をもたらす
かなど、科学的根拠に基づいて説明している。

○「ものを知るための化学」 泉 美治著
講談社サイエンティフィック

本書は、化学を専攻する人のみではなく、
どちらかというところそれ以外の分野に進む人に
読んでもらいたい本である。本書を読む事
によって、化学とはというよりも、物質の性
質がそれらを構成している分子や原子の性質
が反映されたものだということが理解される
であろう。化学がおもしろくないという人
に読んでもらいたい本である。

○「原因をさぐる統計学」

豊田秀樹、前田忠彦、柳井晴夫著
講談社ブルーバックス

最後に本書を推したい。小生が最近手掛
けているものにケモメトリクス（化学統計学）

という分野があるが、これはつまる所、化学
において現れる諸々の現象には如何なる因子
が潜んでいるのかを、統計手法を用いて解析
するものである。本書は、化学のみならず、
社会現象に潜む「因果関係」を見出す方法と
して、「共分数構造モデル」という現在注目
を集めつつある統計的データ解析の方法を基
に、平易に解説してある。理工系の学生諸
君には是非とも読んでもらいたい本である。

土木工学科教官 緑川 猛彦

土木材料学の担当で一年生の教壇に立つて
みますと、土木工学科を選んで入学したにも
かかわらず『土木とは何か』あるいは『土木
とはどのような事をするのか』という事に関し
てあまり知らない学生が多いような気がしま
す。一言で土木と言っても多岐多様であり
又時代とともに常に変化していますので、そ
れらすべてを入学時に知っている必要はあり
ませんが、少なくとも土木を選んで入学した
のですから基礎知識ぐらいは知っておくべき
ではないでしょうか。

先日、土木工学科では一年生に『まず読ん
でみよう－これが土木の世界だ－』という冊
子を配布しました。これは福島高専の名誉
教授である志賀宜郎先生が在職中に作成した
ものを新しく印刷したもので、各学年約6冊
ずつとその他約70冊を合わせ土木関連の文
庫本100冊としたものです。まず一年生
には土木の導入部として次の6冊が取り上げ
てあります。

- | | |
|-------------|-------|
| 1) 後世への最大遺物 | 内村艦三 |
| 2) 満ちてくる潮 | 井上靖 |
| 3) 沈める滝 | 三島由起夫 |
| 4) 高熱隧道 | 吉村昭 |
| 5) 石の眼 | 阿部公房 |
| 6) 剣岳（点の記） | 新田次郎 |

これらの本はいずれも読みやすく、また土
木事業とはどんなものか、あるいは土木技術
者は如何にあるべきかを知るのに最適な本で

す。

何となく高専の土木工学科に入ってしまったと思う君！ これらの本を読んで将来の自分の姿を想像するのも悪くないと思うよ。

私の推す一冊

《武者小路実篤「馬鹿一」を読んだ感想》
機械工学科1年 鈴木 啓一

この本は昭和二十三年十一月に刊行されたものだが、文章を見る限りとても終戦直後の時代に書かれたものとは思えない。ある町の郊外に、馬鹿一などというあだ名をつけられた人がいる。職業は画家で詩人だが、その題材がすべて道端に落ちている石ころや雑草なのである。おまけにお人よしで、全然悪意がなく、職業を除くと年を取った神田利則その人である。

「ぼく」はそんな馬鹿一のところに、友人数人と馬鹿一の作品をからかいに行く。ついでに道端の石ころや雑草を抜いて持って行くと、馬鹿一はすごく喜ぶ。「どうもありがとう。僕は今迄にこの草を何度も見たが、まだこの草の美しさを十分知る事が出来なかった。君のお陰で、この草の美しさを知る事が出来るのは有り難い。」とって花びんにその花を堂々とさし、色々な角度から見て絵や詩を書くのである。しかもその仕方が大真面目なのだ。

こんなことばかりしていて生活は大丈夫なのかと心配してしまうが、馬鹿一という人物は、大物だと思う。他人があまり目につかない道端の石や雑草に光を当ててやっているのだから。そういう、小さな自然に目を向ける馬鹿一の性格に、最近の若者の生き方を批判しているような部分を垣間見た気がする。だからこの小説を読むと、ぼくはこの小説が最近のものに思えてならないのだ。

《日本超古代史の謎》

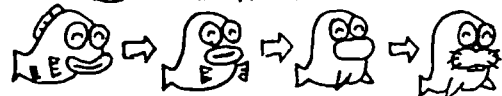
佐治 芳彦著（日本文芸社）
工業化学科 2年 酒井 友子

「古事記以前の書」といわれる一群の古代史料群がある。もちろん学界では非公認のものだがいわゆる公認史料の、「古事記」や「日本書紀」などとは異なった系列の古代情報源として、最近注目されている。これが「古史古伝」である。

その代表的なものとしては「神代の万国史」と称される「竹内文書」、出雲王朝の正統さを説く「九鬼文書」、桑の徐福が筆録したと伝えられる富士高天原王朝の盛衰史である「宮下文書」、五・七調のみごとな韻文でうたいあげた東北王朝史ではじまる「秀真伝」と、その「割り瓜」あるいは「合せ鏡」ともいわれる「三笠紀」神代の百科事典ともいべき「上記」などがある。また、成立こそ近世後期（寛政年間）だが、東北古代の異端の記録であり、二千年にわたる二つの日本の対立・抗争を記した「東日流外三群史」もそれに含めてよいだろう。「古史古伝」こそは、縄文以来一万年を越す日本列島住民の存在証明であり、民俗的集団無意識の露頭でもある。私たちは「古事記」や、「日本書紀」（記・紀）以外のこれらの古代（神代）関係史料を知ることによって農耕文明渡来以前の日本列島史と、古代権力闘争の勝者の編集した「記・紀」などから抹殺された、より真実の日本列島のイメージをもつことができる。

また、「古史古伝」にはほとんどの場合、学界で後世の「偽作」とされている「神代文字」が出てくるのが、古史古伝偽書説の主な根拠とされてきた。だが、長期にわたる汚染を免れた史実こそ「古史古伝」の生命であり、民俗のロマンとして、私たちの意識の深層によびかけるのである。

<進化論> 魚からアザランへ...



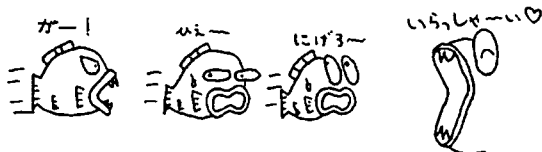
今回初めて、シェイクスピアの作品を手にとってみて、あまり本の好きではない自分がシェイクスピアの世界に、引き込まれていきそうな感じがした。「ロミオとジュリエット」は有名だから、名前だけは知っているけど「ベニスの商人」など、英語の教科書で見るとまでは、名前すら知らなかった。

二人の青年、アントーニオとバサーニオ、親友同志と言える二人。自分にも、本当に仲の良い親友が二人いる。でも、友達がお金がない時に、他人に借りてまで、その友人に貸すことができるだろうか。その立場におかれてみなくては、わからない事だけれど、多分できないと思う。

ポーシャの存在も、内容からいくとおもしろい存在だと思う。一つの鍵を握っていたと思われる指輪、逆転で勝った裁判の後、ポーシャが、「指輪をお礼によこせ」と迫って、結局は、渡してもらった訳だが、自分のもとに指輪は戻ったのだし、アントーニオと、バサーニオの二人の友情を真にうけたのだから、そんな悪い気分ではないだろうし、ましてや、人の良さが良く分かり、バサーニオを一人の男として見直したのではないかなと、個人的にはそう思った。

もし、指輪を渡さなかったら、果たしてどうなっていたのだろうか。自分に置き換えて考えてみれば、絶対に好きな人、結婚した人なのだから、肌身離さないと約束した指輪を人に渡すなんて考えられないと思う。

どうなっていたのかなと、知りたい気がするけど、そんな逆ばかり考えていたらきりが無い。これが一番の「ベニスの商人」なんだと思うしかないし、これこそがシェイクスピアの世界なのだから、口を出すのは失礼なことかもしれない。



現在、多くの人は困難と取り組み、これ乗り越える勇気がなくなってきたと思う。困難を避け、問題から遠ざかり、自分の安全を守ろうとする心理は誰にでもある。誰も、あえて危険に身をさらし、不安に襲われる事をしたいとは思わない。しかし、あえてそうする人々もいる。それは、そうする事の意味と価値を見いだしているからである。彼らは危険の恐れを感じないわけではない。恐れや不安を感じながらも、あえて自分の信ずる意味や価値に身を任せ、自分を賭けるのである。

勇気ある行動を妨げる一つの大きい要因は不安と恐れである。失敗するかも知れない恐れ、ほかの人々に批判され非難される恐れ、名誉を失うかも知れない不安、これらは未知の将来に向かっていきようとする人間が、誰でも体験する感情である。だが、この不安や恐れを体験しないように常に安全な道ばかりを選ぶ習慣が身につけば、けっして成長する事は出来ない。自分の生き方を自分で決めていく事を余儀なくされている人間は、不安と恐れを受け入れていく習慣を身につけて行かなければならない。つまり、不安や恐れによって体験される苦痛や重みをあえて引き受けなければ、人間として成長する事は出来ないのである。

自分に正直に生きようとするれば、不安や恐れを感じつつもこれらを受け入れ、それにもなう苦痛をあえて耐えなければならない。つまり、あえてそうすることを覚悟することである。この覚悟することは決断であって、自分が積極的に決心する事である。覚悟、決断、決心と言った言葉は、単なる行動を意味するものでなく、心の態度を意味している。この態度というのは、その人のあり方、生き方をさしている。自分に正直にいきようとする態度がなければ、実際に、そのようにいきる決断を下す事は出来ない。つまり、

自分自身に対するあり方、自分の生き方が根底にあつて初めて、人は自分に正直に生きるという「生き方」が実現されるのである。

華麗なる菅浩江の世界（の氷山の一角）

電気工学科 5年 吉田 幸司

私が今一番期待する作家、それが菅浩江。はじめて読んだのは「歌の降る惑星」（角川スニーカー文庫）なのだから、期待するなどののも無理な話ですが、この作品の面白さは保証付きなので、とにかくこの一冊は読んでもらいたいです。

菅さんは「読み終えたあと、涙で文字が見えなくなる、とまではいかななくても、心にコトンと落ちるものが残る物語」を目ざしているとのことですが、それが達成できているかどうかは作品を見ればすぐに解ると思います。

「星の降る惑星」の感動は、タイトル・ロールならぬタイトル・アイデアの凝りかた、面白さとスケールの大きさに負うところも大ですが、同時にこの長編で作者は、人類文明存亡の危機というとてつもない設定（これが言葉のからまわりに終わっていないからすごい）に挑んで、SF作家らしい壮大なヴィジョンを見る眼をもっていることを証明しました。しかもそれが、極上のいい話の連発と奇跡的なくらい見事にシンクロして語られるのです。

菅浩江に期待してしまう原因は、このあたりにあります。菅さんの作品を読んでいると、「SFへの意志」の強さをいつも感じます。異世界ファンタジーの物語でも、絶対どこかがSFになっているのです。例えば、もう一つの代表作「メルサスの少年」（新潮ファンタジーノベル）の場合、世界の歴史や、キャラクターに隠された世界に運命を左右する秘密、そしてクライマックスの光景。無幻的な世界の裏に、こうした背景が通っている、このへんがSFであり、菅浩江

であると言えます。

これだけのスペースでは菅浩江の世界のことは、とても書ききることはできません。ですから、実際に作品に触れて、確かめて欲しいと思います。

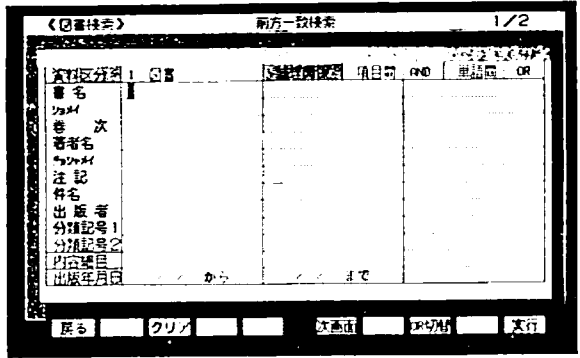


サレでもわかる!

検索機の使い方



図書館公認! ←(多分)



左の画面の時に、著名か著者名のどちらかを入力します。

<入力方法はローマ字及びカナ入力。

[XFER]キーで漢字変換 >



私にきけ!!



信用で私のがゴイツー?

何かうさんくさいナー



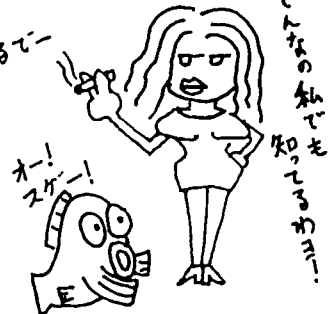
入力後、実行キー[F・10]を押すと、右のような一覧表示に切りかわります。

№	登録番号	書名	著者名	出版者	年
1	00100-049	新西蔵全集 第1巻	新西蔵著	文芸堂書店	1974
2	00101-291	新西蔵全集 第2巻	新西蔵著	文芸堂書店	1974
3	00101-292	新西蔵全集 第3巻	新西蔵著	文芸堂書店	1974
4	00101-293	新西蔵全集 第4巻	新西蔵著	文芸堂書店	1974
5	00101-294	新西蔵全集 第5巻	明治40年一刷	新西蔵著	1974
6	00101-295	新西蔵全集 第6巻	世村エッセイ	新西蔵著	1974
7	00100-703	日本文学全集 第31巻	新西蔵・葛村	集英社	1975
8	00100-704	日本文学全集 第31巻	新西蔵・葛村	集英社	1969

どーせ俺なんか...



このおさんおちんじでー



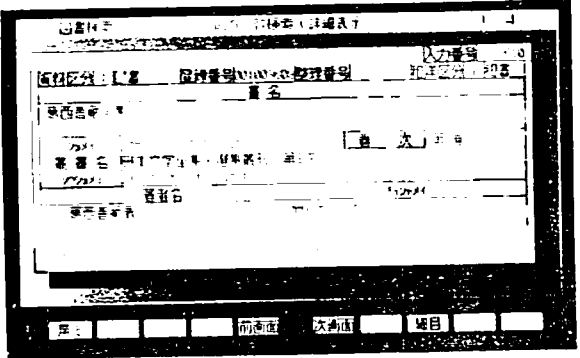
みんなの私でよ 知っているか...



オ! スゲー!

上画面で、詳細を表示したい資料のところまで↑・↓キーでカーソルを移動させ、[↓]キーを押すと、

左の詳細画面に切りかわります。



みんなの私でよ 知っているか...

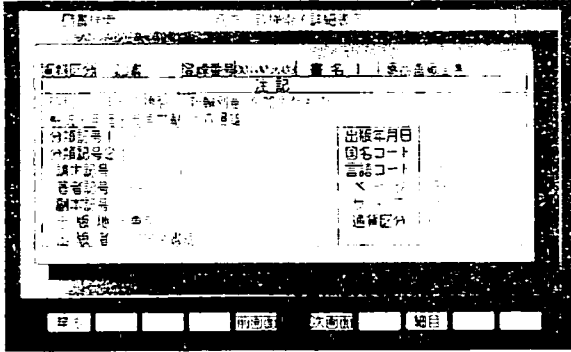
うさぎちゃんより 亜美ちゃんですよ!



にげる! オカキーだ!



前画面キ-[F.5]、次画面キ-[F.6]を押していくと、
それぞれ下のような画面が表示されます。



こなるのでお
みなさん



ウキ?

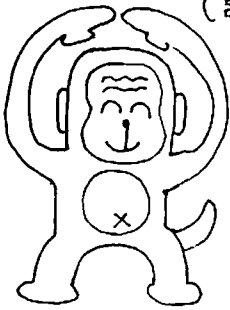


ウキ〜?

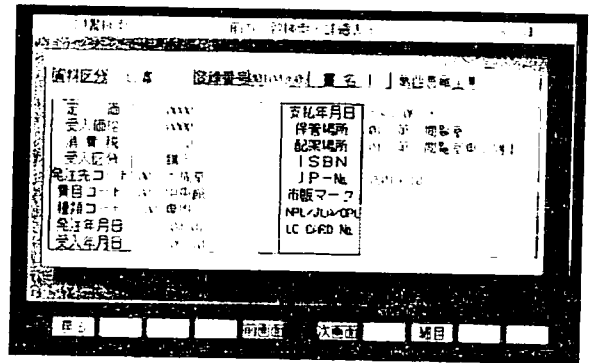


ウキ、ウキウキウキウキー!

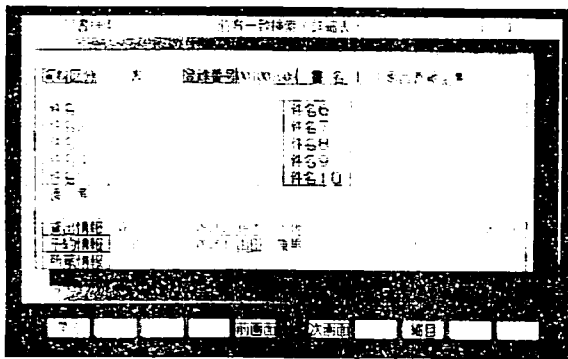
(訳:私でもわかるぞ!)



へ、わからなふりしやがて
カルのくせに...



最初の画面に戻りたいときは
戻るキ-[F.1]を押すと戻ります。



うつりわるい
こ水...



まあこはんてつ
おんびんに...



金にぎらせれば
すまのにお...



全て言周べ系終わらたら、次の人のために
[F.3]のクリアキーを押しておきましょう。

もし使い方を間違ってしまったときは、
そのままにしておがずに、図書係の人に
聞きましょう。

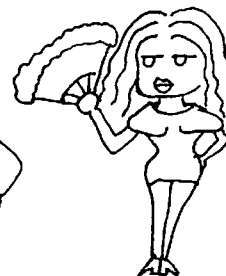
もうお金はない
んたのー



もうおかりたては...



わからかな?



もうお金はない
んたのー

☆☆☆ 夏季休業中の臨時開館のおしらせ☆☆☆

夏季休業期間中の臨時開館は、次の曜日を除き開館します。
土・日曜日および8月9日(月)から8月13日(金)

※ 夏季休業特別貸出により帯出した図書の返却日は9月2日(木)までです。
忘れないようにしましょう。

☆☆☆ クラス別図書帯出冊数 (平成5年 4月～6月)

	1年	2年	3年	4年	5年	合計
機械工学科	3	73	134	86	75	371
電気工学科	2	50	65	204	233	554
工業化学科	27	131	58	171	48	435
土木工学科	4	158	11	43	77	293
合計	36	412	268	504	433	1653

平成5年度図書委員

図書館長 渡辺洋太郎 (一般教科)
副館長(ビブリア担当) *西山 公紀 (一般教科)

委員 中山 淳一 (機械工学科) 村田 進 (電気工学科)
高橋 辰男 (工業化学科) 高橋 邦雄 (土木工学科)

学生委員

1M 鈴木 匡 * 1E 大高裕幸 1C 高木里子 1土 島 文孝
二階堂誠
2M 阿部和人 2E 山田寛章 * 2C 酒井友子 2土 佐藤 崇
3M 中川 淳 * 3E 渡辺幸夫 3C 小澤大作 3土 菊原通彰
4M 宮澤啓一郎 * 4E 小野真紀子 4C 柴田公彦 4土 公平 学
5M 坪井正一 5E 藤井慎一 5C 深谷雄大 * 5土 寺岡大二
(*印はビブリア編集委員)

編集後記

☆ 今回は特に『新1年生に薦める入門書』という企画で、専門教科の4人の先生に投稿を依頼しました。新入生はもとより元新入生にもぜひ読んでいただきたい。

☆ 予定どおりは無事本号を発行出来たのは、ビブリア編集委員の学生諸君が、原稿の打ち込み、イラスト作成などに積極的に協力してくれたおかげである。ビブリアへの投稿、また編集参加はきっと学生生活の良い思い出になることと思います。

☆ 購入希望の図書がありましたら、最寄りの図書委員を通じてか、あるいは直接図書係りに申し込んでください。